

ふる里 3・4月号

はまわき

第383号 令和6年3月1日発行

発行・編集

浜脇コミュニティ委員会



祝 二十歳のつどい

2024・1・8

阪神甲子園球場の開場100周年という記念すべき年に
阪神甲子園球場で平成15(2003)年4月2日～平成16年
4月1日生まれの皆さんが二十歳のつどいを迎えました



これからの人生もたくさんの
良い出会いに恵まれ、いろ
いろな経験をし、日々新たな
発見と成長がありますよう
に！ 一生懸命がんばってく
ださい！

* * *

会場では華やかな振り袖や
スーツに身を包み、久しぶり
の再会を喜んだり、記念撮影
を楽しんでいました。
夕方からは、当時の生徒会
役員が企画した浜脇中学校71
期生の同窓会が開催され、約1
50人の同級生が集まりました。
お世話になった先生もた
くさん来ていて、大いに盛り
上がりました。

◇祈り、安らぎ、永遠、そしてあなたらしさ…。心を大切にしてお墓作りを考えています◇

有限会社 中原石材工業所 代表取締役 谷本 俊和

事務所・工場 西宮市名次町12-27 (満池谷墓地正面西約200m)

TEL 0798-73-5334 FAX 0798-70-5200

浜脇幼稚園 秋の作品展



ギンが氷の上で遊んでいるような作品です。すぐ隣ではペンギンのアイス屋さんも開かれました。

動物たちが門でお出迎え。トラ、アシカ、ペンギンです

浜脇幼稚園は、昨年の11月22日に作品展を行いました。10月に遠足で行った神戸市立王子動物園の動物たちをモチーフに、さまざま材料を使って作品を作りました。秋ということもあり、動物の他には芋掘りの様子を絵や画用紙を使って表現していて、にぎやかな催しになりました。園児たちは家から牛乳パックやティッシュの空き箱など不用品をみんなで集めて、作品作りに励みました。うさぎ組は、ペンギンをモデルにした作品でした。ペン



うさぎ組はペンギンを制作。顔がみんな違って面白いです



カラフルなパフェを紙粘土で制作



本物のような大きさの立派なトラの作品

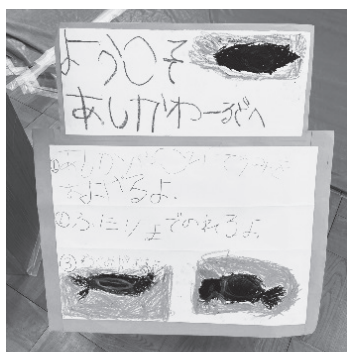
ぞう組は7人で意見を出し合って大きな作品を作りました。ピアノの上に岩の上で大



うさぎ組は、芋や動物の絵も展示していました



看板には遊び方の説明が書かれています



きなトラが寝そべるような作品がありました。岩を画用紙で表現していて、トラのヒゲや模様など、たくさん観察して作った様子が伺えます。トラのコーナーではトラ帽子を被って園児たちが大きな声でガオーッと驚かしていました。作品展の中でも一番大きなコーナーはアシカワールドです。大きなアシカに車輪をつけて乗車できる仕掛けになっていて、園児だけではなく大人も乗れるほどしっかりとした作りになっていました。



どの作品も個性があり、園児たちが頑張ったことが伝わる作品展となりました。



ぞう組のドングリピンボールや芋掘りの作品、運動会のやっところに乗っている作品もありました



ぞう組が押して動かしていました



浜 脇 小学校 図工展

2023.11.20 ~ 23

1、2年生は初めての図工展



それぞれの学年の力作が並びます

全学年の作品が素晴らしい
図工展でした。
丁寧に描いた絵画、細かい
作業を頑張った工作、みんな
のアイデアがたくさん詰まっ
た作品ばかりで感激した人も
多かったことでしょう。



6年生の作品。わたしの大切な風景（左）と未来のわたし



いい位置でスタート!!



人形に法被を着せて
もらいました

三番福おめでとう!!

神戸大学4回生の多田龍平
さんが、1月10日に西宮神社
で行われた「開門神事福男選
び」で三番福の栄誉を授かり
ました。

小学校1年生から浜脇ドリ
ームスでサッカーを始め、中
学3年までの9年間、サッカ
ーを続けました。市立西宮高
等学校でアメリカンフットボ
ールを始め、現在も神戸大学
でアメリカンフットボール部
に所属しています。

福男選びに参加しようと思
ったのは、友達のSNSを見
て。急に思い立って参加した
多田さんですが、くじ引きで
Aブロック(108人)を引
き当てました。番号は36番で
3列目の位置からスタートし
ました。

「最初の直線で抜け出した
時、意外とこれあるんちゃう
か?」と思いました。曲がった
辺りで全国に自分がさらされ
ていることを実感しました。
何で髪の毛ちゃんとしてこん
かったんやろと猛省しました。
二つ目の直線でバテてるなど
思いました。2人に抜かされ
た時に4番だったので、無理
かなと思ったけど、1人前が
転んだので、あとはもう無我
夢中で、気付いたら神社の方
に抱き着いていました。

ゴール後も全く実感が湧い
てなかったのですが、神社で
チャリティーの撮影会を手伝
っていたらたくさんの人から
写真撮影を頼まれて、影響力
を実感しました。同時にしっ
かりしないといけないなとい
う思いが強くなりました。福
男になって終わりではなく、
なってからが大事だと思うの
で、神事など積極的に参加し
ていきたいと思えます」

第67回西宮市中学校連合体育大会
踏みならせ『伝統の地』 響け我らの歓声!!

昨年11月9日、爽やかな秋空の下、阪神甲子園球場で第67回西宮市中学校連合体育大会が開催されました。これは西宮で昭和26（1951）年から60年以上続いている一大イベントです。

この日は阪神甲子園球場に西宮市内の全中学校19校と西宮浜義務教育学校が集まり、各学年、男女に分かれて演技や競争競技を行いました。

今回の演技のテーマは1年・7年男子は「熱誠」、女子は「すずかぜ」。2年・8年生男子は「矜持」、女子は「sunshine」。3年・9年男子は「静と動」、女子は「未来」です。一同に披露する演技はとても迫力があり、観客席にいる生徒と保護者を大いに魅了しました。

競争競技では学校対抗戦のリレーで、各学校の代表選手が1位を目指して白熱した戦いが繰り広げられました。観

客席からは熱のこもった応援と、ゴールする選手には割れんばかりの大きな拍手が送られていました。

閉会後に行われる校歌交歓で浜中生は生徒会や応援団のリードの下、吹奏楽部の演奏に合わせて校歌を歌いながら、白はブラウスカッターシャツ、黒は学ランを使い、仲間と息を合わせて表現する人文字を披露し、本当に美しく素晴らしいものでした。文字が変わる度に会場からはとても大きな拍手と歓声が湧き起こり、大いに盛り上がりました。中連体で人文字を披露したのは4年ぶりです。人文字をする学校は今年度、浜脇中学校と浜甲子園中学校の2校のみとなっています。人文字は浜中生の誇りです。この伝統をこの先もずっと守り続けてほしいです。



結ぶ心 最高の絆 輝け 我らの笑顔と軌跡(^_^)

カジュアルウィーク

浜脇中学校では昨年10月16日～27日の間、「服装」に関するユニークな取り組みが行われました。本校初の試みで、制服そのものへ違和感を感じる生徒への理解・対応、その場にふさわしい服装とは何か、など自分たちで服装のあり方を考える期間にしようと生徒と保護者、地域の皆さん、教師の4者が何度も意見交換や議論をし、実施が決まりました。期間中、生徒たちは制服やジーンズ、ジャージなどさまざまな服装で登校していました。

実施後はアンケートで意見を集め、今後についてさらに議論を尽くしていきます。生徒たちが主体的にルールについて議論を深める中で、学校という場所が、今以上に過ごしやすい場所になればいいですね。



さまざまな服装で登校する生徒